



PORT
FORIO

INTERIOR
DESIGN
YUKI SHIMIZU

～ 紹介 ～

しみず ゆうき
清水 優希
平成16年3月20日 (19歳)

工業高校建築科卒

東京デザイナー学院インテリアデザイン学科2年

自然を多く取り入れた空間や余白を活かした空間
に憧れを持っています

～ 目次 ～

P1	表紙
P2	紹介
P3	目次
P4～8	食とインテリア
P9～10	ホテルラウンジ
P11	BX 文化シャッタードアデザインコンペ
P12～15	インテリアサロン LAIF 提案書



2nd 最終課題 食とインテリアの Recipient!

Neat French Restaurant

～自分らしさを表現する空間～



Concept

導入

カフェやレストランでの食事において、食事を終えた器・シルバー・ティーカップやグラスがおしぼりなどと混ざり手元のスペースを取ってしまう。そんな経験をしたことがありますか。自身では下げられないが故に、食に集中することも食後の会話を友人と交わすことも、心ゆくまで堪能する事が出来ないのが現状です。この課題に着目して、空間とインテリアを混ぜ合わせながら解決することを今回の課題で取り組みました。



工夫

問題の解決は空間とインテリアそれぞれ異なる観点で行いました。空間からの視点では「綺麗にみせる」ことに取り組み、マテリアルや自然、水を活かしつつふと見て綺麗だと思える空間になるよう工夫しました。また個人的に苦手としていたスペースを広く取ることも今回は挑戦しました。対してインテリアからの視点では「無駄を減らす」ことに取り組み、常に卓上物が物で溢れ返らないようにその場で食器やごみを片せられるようにしました。

Q&A

Q, 場所は？

A, 品川区の川沿いに並ぶレストランを想定しています。会社の休憩や散歩で寄り道した際のランチなどにおすすめです。

Q, どんな料理があるの？

A, フレンチでは定番のブイヤベースやエスカルゴ、ステーキフリットを用意しています。また、ランチ、ディナーに限らずオードブル(前菜)からデザート(デザート)の順番は徹底してお持ちします。

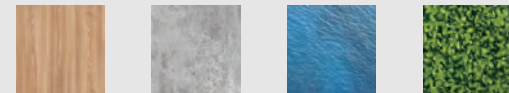
Q, お店の特徴は？

A, 『快適に、食を楽しむ。』というコンセプトを掲げていて、最大の特徴はお皿を下げるためにウェイターを待つ必要がないということです。そのため、自身のタイミングで卓上を整理する事が可能となります。

Q, 具体的に綺麗に見せる工夫は？

A, 壁にはコンクリート、床には暖色の木材パネルを使用し、木の暖かさを感じながらコンクリートの冷たさが引き立つように、素材を生かしました。そのコンクリートの冷たさに加えて、床下を流れる水やお皿の音による聴覚的な清潔感も感じられるようになっています。

・ Material Chart Image



Detail

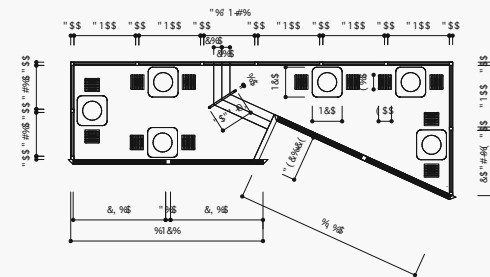
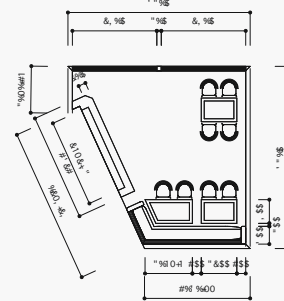
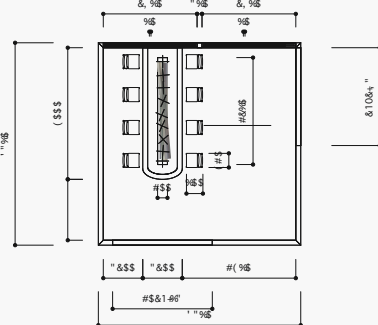
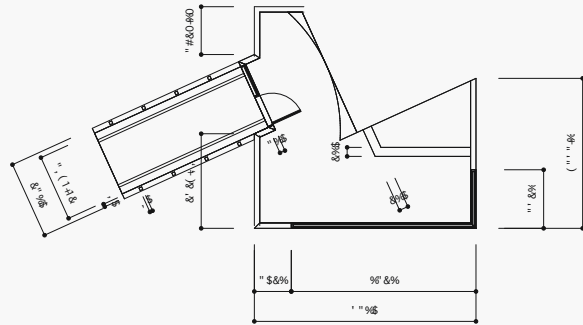
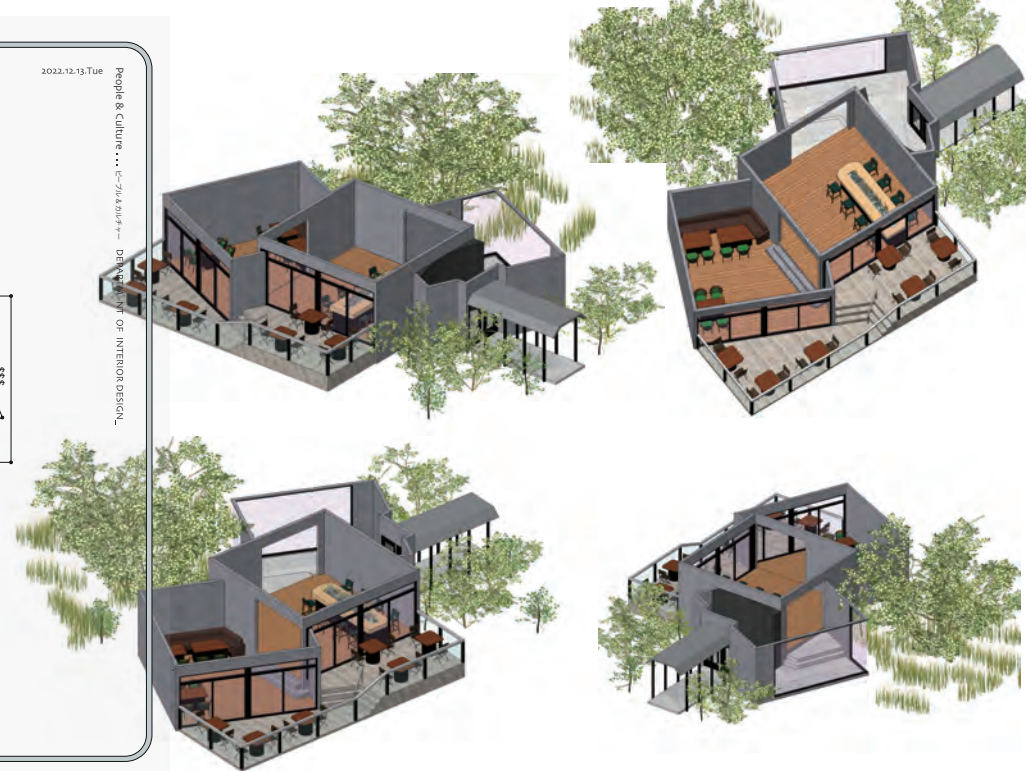
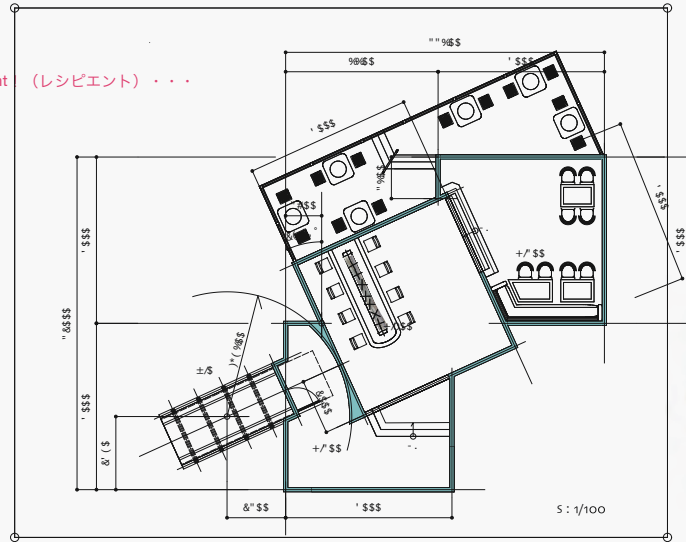
INTERIOR DESIGN DEPARTMENT.
TDG

2022.12.13.Tue
People & Culture ...
DESIGN OFFICE OF INTERIOR DESIGN

FOOD DESIGN !

「自分らしさ」を表現する空間

・・・「食」とインテリアのrecipient (レシピエント)・・・



Image

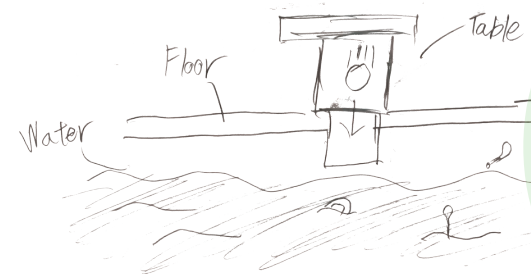


食べる



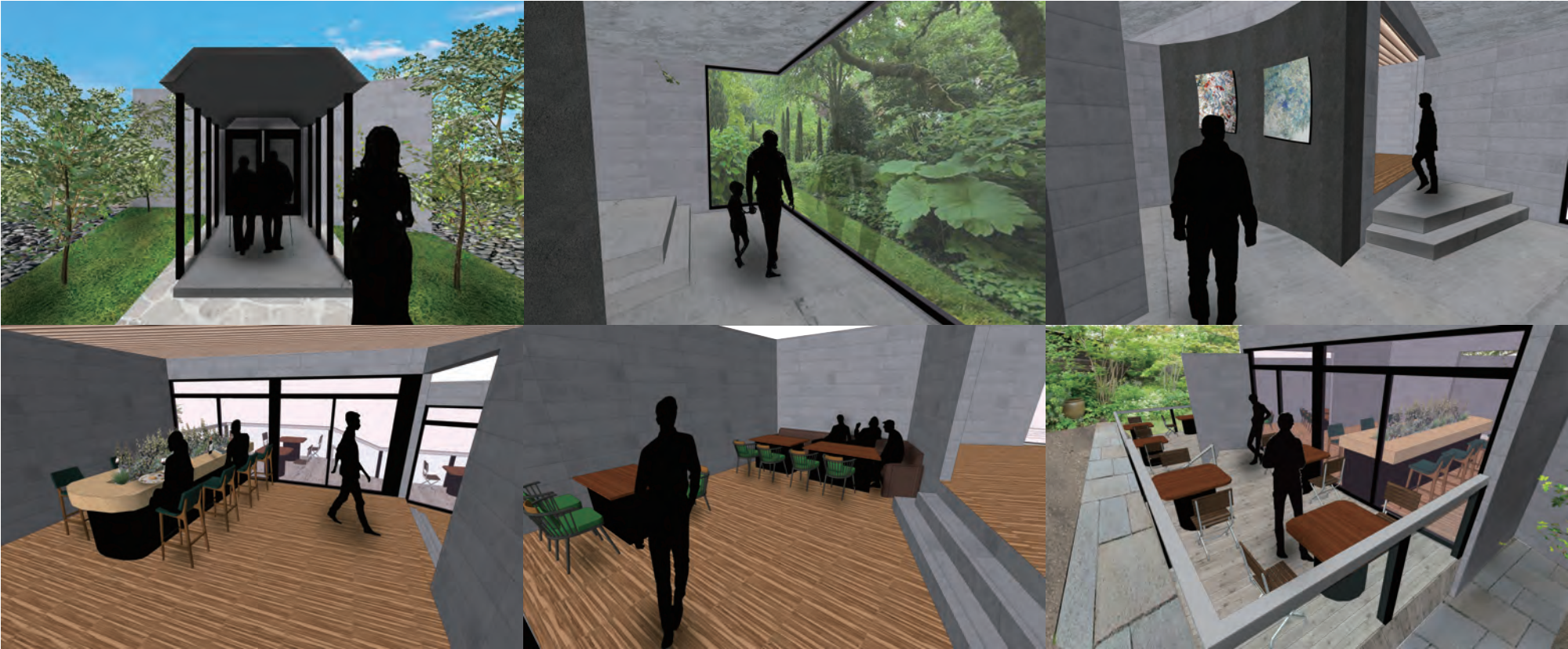
入れる・片す

テーブルの支え



流す

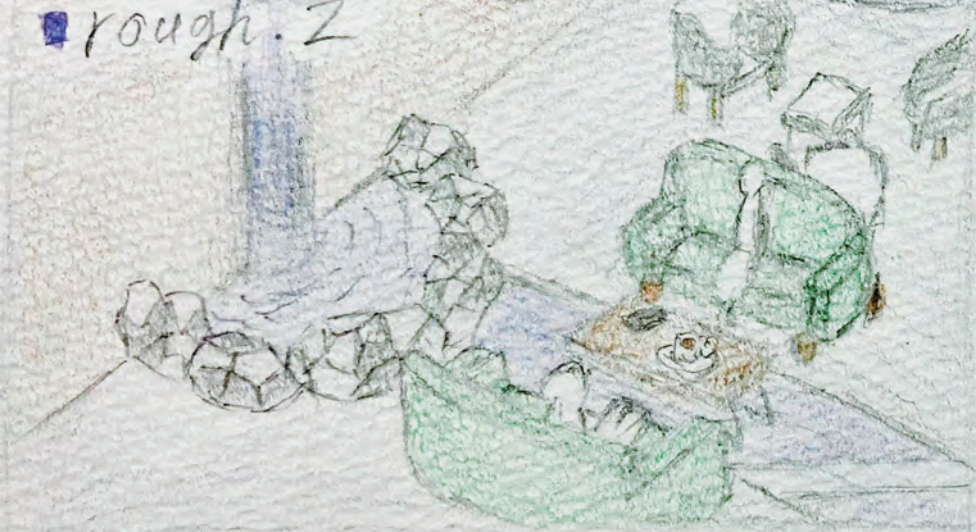
3DPerth



■ rough. 1



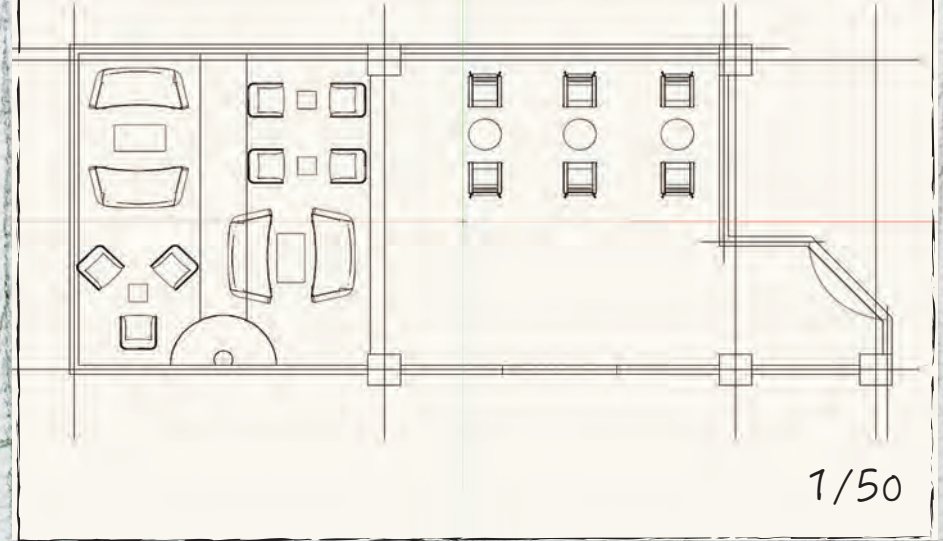
■ rough. 2



■ Color Chart

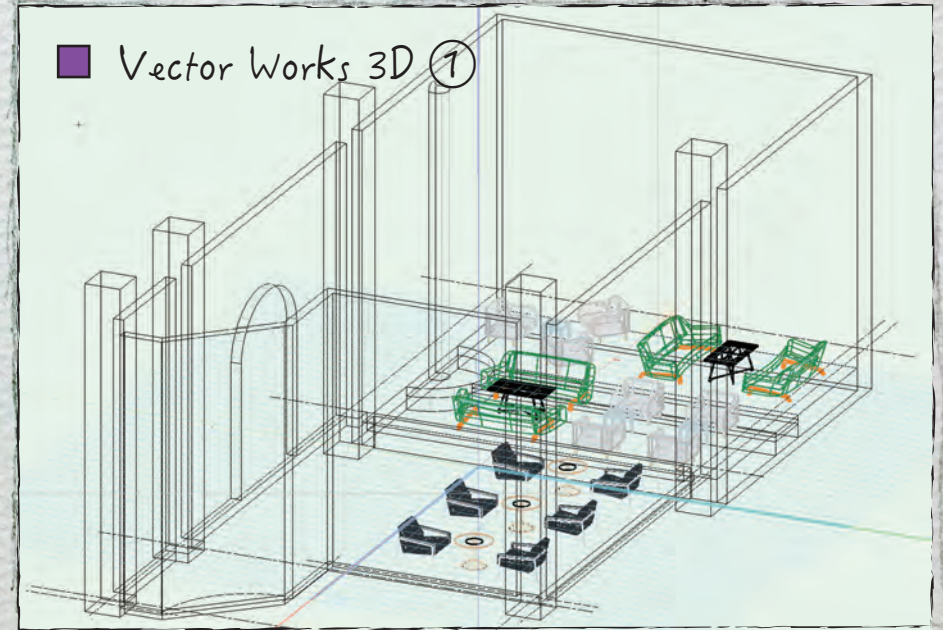


■ Plan view

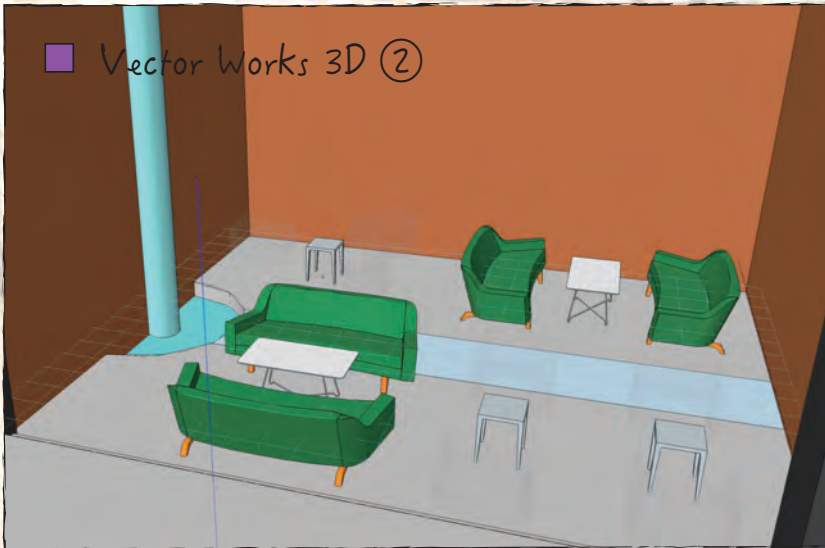


1/50

■ Vector Works 3D ①



Vector Works 3D ②



Concept

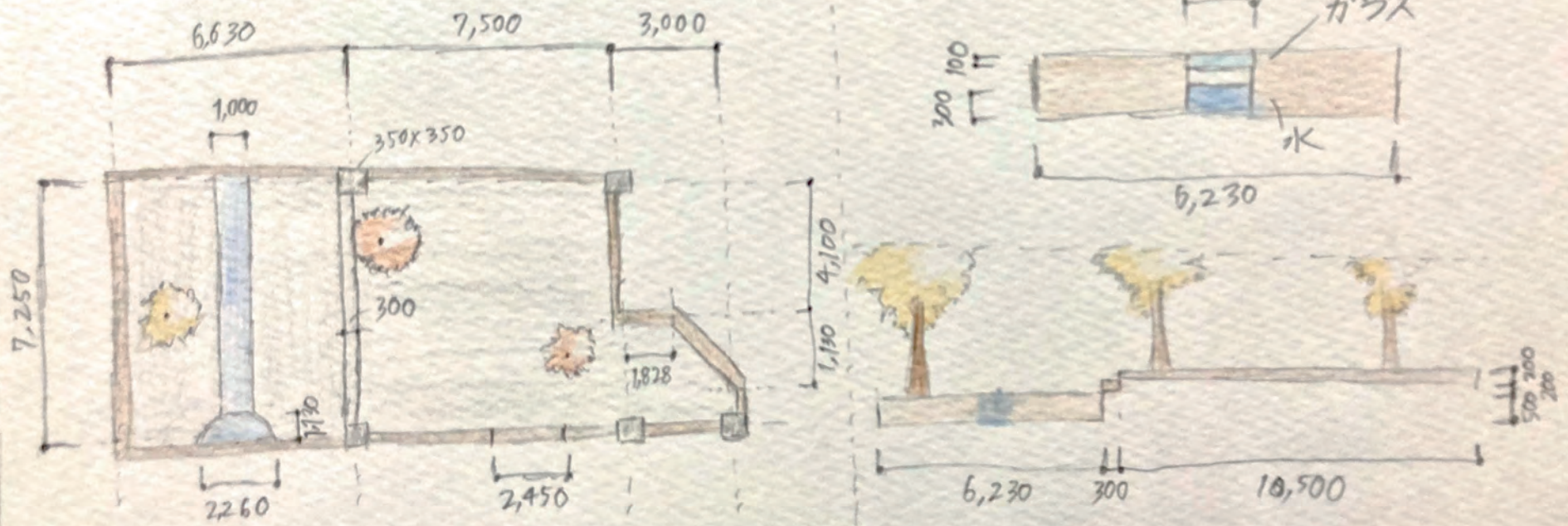
～湖と富士山を眺める～

・アーチ状の入り口から覗いても西湖と富士山の絶景が
状態として入って来るようなビクチャ-ウィンドウ!

～存在感のある紅葉～

・ラウンジ内に紅葉の人工樹木を設けて、テーマとなる
秋の要素を出す。

Detail view



玄関ドア × 空調設備

Problem

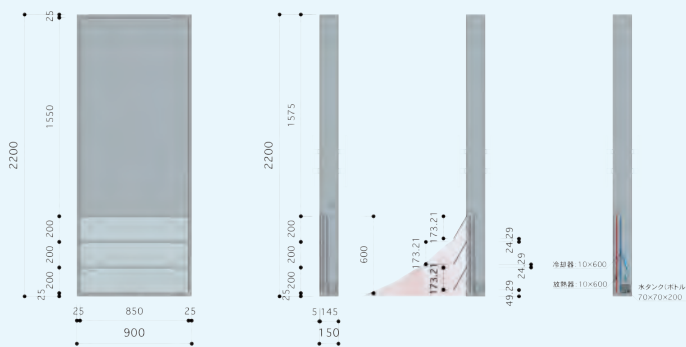
雨が降る日は、多かれ少なかれ靴は濡れるものだと思います。そんな濡れた靴をあなたならどうしますか。その場に置いておけば悪臭や生乾き、湿気による結露の原因になりますが、乾かすにも新聞紙、ドライヤー、玄関マット、除湿機の設置など手間になる事が多いと思われます。そこで自分は雨の日の問題を一手に担えるドアを提案したいと思います。

Concept

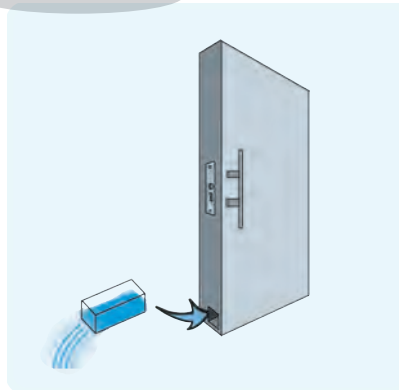
『帰りたくなるドア』というコンセプトを大切に、機能面も劣らぬよう工夫しました。乾かす・冷やす・暖めるなどの動作において従来必要としていた除湿器などを置く必要がなくなり、すっきり見せる事ができます。また、ボタンひとつで湿気によるカビ・生乾きの対策ができ、温度も調整できることで玄関の暗くて寒いイメージを払拭する事ができます。



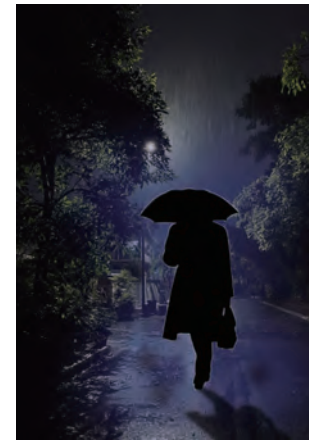
Detail view



Water bottle

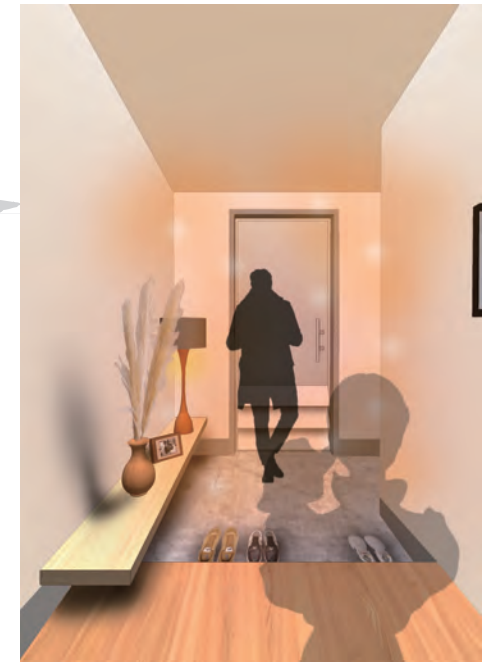


Before



- ・寒い
- ・暗い
- ・濡れる

After



- ・暖かい
- ・明るい
- ・乾く



帰りたくなる！

インテリアサロン LAIF - ライフ -
Fasade Design Suggestion

東京デザイナー学院 id-b 清水 優希

01 Area Features



東京都目黒区内にある柿の木坂について
地域の特徴を自身でまとめあげました。
柿の木坂は現在、名の知れた高級住宅街という
イメージが定着している閑静な住宅街となっています。
自然の緑が目に残る坂が印象的で、日中ゆったりと
散歩をするにもお気に入りのお店を探すことにも適していて
エリア全体で落ち着きのある様子が見受けられます。
近辺の都立大学駅周辺にはお店も多数あり
食や交通の便にも長けている暮らしやすい地区です。

そんな閑静で落ち着きのある柿の木坂に
住む方に向けたデザインを考える事が第一です。
しかし LAIF さんは店舗を出て目の前に
環状7号線があるという立地なので、車内から
でも目につくようなデザインにすることも
考えなければなりません。そういったシンプルに
デザインを落とし（無駄を削ぎ落とし）ながら
ポップで分かりやすいアクセントとなる
デザインを一つ加えることを意識して住民と
通行人のどちらからでも親しめるファサードを
考案しました。



02 Concept

今回考案させていただいたデザインは『目を引くようなおしゃれなデザイン』というコンセプトを基に、シンプルに仕上げながらポップさを加えて印象に残りやすいデザインにしました。

- ・ 下半分が半透明になっているので、店内の様子が筒抜けにならない
- ・ 閑静で暮らしやすいイメージがある柿の木坂の雰囲気に合うようなシンプルなデザインをベースに
- ・ 依頼される前の既存のデザインに寄らないように
- ・ 一目見て建築、もしくはインテリアに関する店舗だとわかるように半透明のガラスに建物のシルエットを
- ・ 近付きづらい印象を持たれないように重厚感を持たせない
- ・ 最終的に雰囲気に合うデザインを選べるように2パターン制作

03 Design

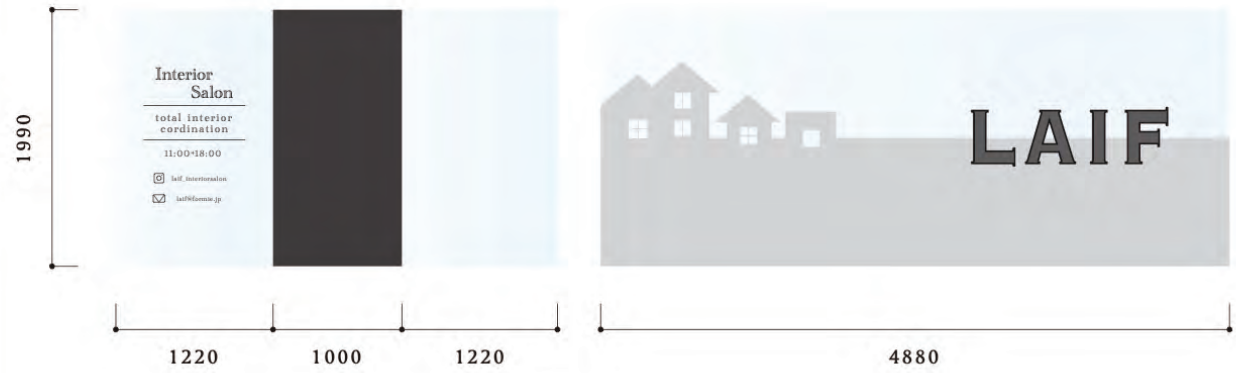


image
picture

